



## 2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年2月7日

上場会社名 株式会社JMS

上場取引所 東

コード番号 7702 URL <http://www.jms.cc/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 奥窪 宏章

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長 (氏名) 遠藤 正樹

TEL 082-243-5844

四半期報告書提出予定日 2019年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	44,251	5.4	1,374	150.6	1,419	99.0	980	96.9
2018年3月期第3四半期	41,983	0.5	548	△47.9	713	△49.0	497	△57.6

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 576百万円 (△54.4%) 2018年3月期第3四半期 1,263百万円 (349.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	40.22	—
2018年3月期第3四半期	20.43	—

※当社は、2017年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	67,082	31,742	47.1
2018年3月期	67,304	31,549	46.7

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 31,612百万円 2018年3月期 31,422百万円

(注)「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度に係る連結財政状態については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	4.00	—	8.00	—
2019年3月期	—	8.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※当社は、2017年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。2018年3月期の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」と記載しております。

### 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	58,000	2.6	1,500	161.4	1,500	82.8	1,100	74.3	45.13

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	24,733,466 株	2018年3月期	24,733,466 株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	356,346 株	2018年3月期	366,459 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	24,372,593 株	2018年3月期3Q	24,367,921 株

※当社は、2017年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「かけがえない生命のために」の創業精神の下、「医療を必要とする人と支える人の架け橋となり、健康でより豊かな生活に貢献することですべての人々を笑顔に」することを目指して、製品の開発、生産、販売を進めると共に、経営の品質と企業価値の向上に努めております。事業活動としましては、ビジネスユニット型の組織として次の3つを設け、ホスピタルプロダクツ ビジネスユニットでは輸液・栄養領域を、サージカル&セラピー ビジネスユニットでは透析領域及び外科治療領域を、ブラッドマネジメント&セルセラピー ビジネスユニットでは血液・細胞領域を中心にそれぞれ事業を展開し、製品の開発、生産、販売を進めております。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期に比べ22億67百万円増加の442億51百万円（前年同四半期比5.4%増）となりました。利益につきましては、増収効果に加え、販売費の低減により、営業利益は13億74百万円（前年同四半期比150.6%増）となりました。また、持分法による投資利益を計上した一方で、たな卸資産廃棄損の計上により、経常利益は14億19百万円（前年同四半期比99.0%増）となり、税金費用等を差し引いた結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億80百万円（前年同四半期比96.9%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ①日本

新型血液透析装置「GC-X01」や摂食嚥下関連用品の販売が拡大したため、売上高は319億46百万円（前年同四半期比4.1%増）となりました。また、セグメント利益については、販売費の低減により5億18百万円（前年同四半期比31.8%増）となりました。

#### ②シンガポール

北米向けの成分献血用回路の販売が増加したため、売上高は150億98百万円（前年同四半期比5.3%増）となりました。また、セグメント利益については、増収効果により9億1百万円（前年同四半期比45.5%増）となりました。

#### ③中国

フィリピンへの生産移管により日本向けの輸液セットの販売が減少したため、売上高は23億57百万円（前年同四半期比10.8%減）となりました。また、セグメント利益については、労務費や経費の低減により39百万円（前年同四半期比53.5%増）となりました。

#### ④フィリピン

日本向けの輸液セットの販売が増加したため、売上高は12億57百万円（前年同四半期比199.4%増）となりました。また、セグメント損益については、増収効果により、前年同四半期に比べ1億29百万円改善の3億54百万円の損失となりました。

#### ⑤その他

売上高は59億34百万円（前年同四半期比4.6%増）、セグメント利益は3億55百万円（前年同四半期比32.5%増）となりました。

なお、上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2億22百万円減少の670億82百万円となりました。資産、負債及び純資産の内容は次のとおりであります。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ2億4百万円増加の378億1百万円となりました。この主な要因は、受取手形及び売掛金が増加したためであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ4億26百万円減少の292億80百万円となりました。この主な要因は、投資有価証券が減少したためであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ3億94百万円増加の218億76百万円となりました。この主な要因は、1年内返済予定の長期借入金が増加したためであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ8億9百万円減少の134億63百万円となりました。この主な要因は、長期借入金が増加したためであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ1億92百万円増加の317億42百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が増加したためであります。

なお、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.4ポイント上昇の47.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年5月11日に公表しました2019年3月期(通期)の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、当該業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,162	6,464
受取手形及び売掛金	16,452	17,063
有価証券	71	102
商品及び製品	7,438	7,316
仕掛品	2,331	2,646
原材料及び貯蔵品	3,409	3,458
その他	761	782
貸倒引当金	△29	△33
流動資産合計	37,597	37,801
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,652	8,468
機械装置及び運搬具（純額）	7,738	7,638
その他（純額）	6,933	7,103
有形固定資産合計	23,324	23,210
無形固定資産	438	484
投資その他の資産		
投資その他の資産	5,956	5,595
貸倒引当金	△12	△9
投資その他の資産合計	5,943	5,585
固定資産合計	29,707	29,280
資産合計	67,304	67,082

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,609	8,875
短期借入金	4,110	4,350
1年内返済予定の長期借入金	2,926	3,317
未払法人税等	198	350
製品保証引当金	8	7
賞与引当金	1,041	583
資産除去債務	135	—
その他	4,452	4,392
流動負債合計	21,481	21,876
固定負債		
長期借入金	11,959	11,294
役員退職慰労引当金	103	101
退職給付に係る負債	751	801
資産除去債務	106	107
その他	1,351	1,158
固定負債合計	14,272	13,463
負債合計	35,754	35,339
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,411	7,411
資本剰余金	10,362	10,362
利益剰余金	13,554	14,144
自己株式	△283	△275
株主資本合計	31,044	31,641
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	551	287
為替換算調整勘定	△173	△316
その他の包括利益累計額合計	378	△29
非支配株主持分	127	129
純資産合計	31,549	31,742
負債純資産合計	67,304	67,082

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
売上高	41,983	44,251
売上原価	31,213	32,714
売上総利益	10,769	11,536
販売費及び一般管理費	10,221	10,161
営業利益	548	1,374
営業外収益		
受取利息	12	10
受取配当金	33	39
持分法による投資利益	200	267
その他	136	107
営業外収益合計	382	425
営業外費用		
支払利息	91	140
為替差損	102	125
たな卸資産廃棄損	—	86
その他	23	28
営業外費用合計	218	381
経常利益	713	1,419
特別利益		
固定資産売却益	15	6
特別利益合計	15	6
特別損失		
固定資産売却損	2	1
固定資産廃棄損	15	33
特別損失合計	17	34
税金等調整前四半期純利益	710	1,390
法人税、住民税及び事業税	279	364
法人税等調整額	△70	42
法人税等合計	209	407
四半期純利益	501	983
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	497	980

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	501	983
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	221	△264
為替換算調整勘定	540	△143
その他の包括利益合計	761	△407
四半期包括利益	1,263	576
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,252	573
非支配株主に係る四半期包括利益	11	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)2	合計
	日本	シンガポール (注)1	中国	フィリピン	計		
売上高							
外部顧客への売上高	28,233	7,069	1,008	—	36,311	5,672	41,983
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,458	7,268	1,634	419	11,781	—	11,781
計	30,691	14,338	2,643	419	48,092	5,672	53,764
セグメント利益 又は損失(△)	393	619	25	△483	555	268	823

(注) 1 「シンガポール」の区分は、生産体制を相互に補完し一体とした事業活動を行うインドネシアの現地法人を含んでおります。

2 「その他」の区分は、国内子会社及びドイツ、アメリカ、韓国の現地法人の事業活動を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	555
「その他」の区分の利益又は損失(△)	268
セグメント間取引消去	△229
持分法投資利益又は損失(△)	200
その他の調整額	△82
四半期連結損益計算書の経常利益	713

II 当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)2	合計
	日本	シンガポール (注)1	中国	フィリピン	計		
売上高							
外部顧客への売上高	29,639	7,565	1,111	—	38,317	5,934	44,251
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,307	7,533	1,245	1,257	12,343	—	12,343
計	31,946	15,098	2,357	1,257	50,660	5,934	56,594
セグメント利益 又は損失(△)	518	901	39	△354	1,104	355	1,460

(注) 1 「シンガポール」の区分は、生産体制を相互に補完し一体とした事業活動を行うインドネシアの現地法人を含んでおります。

2 「その他」の区分は、国内子会社及びドイツ、アメリカ、韓国の現地法人の事業活動を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,104
「その他」の区分の利益又は損失(△)	355
セグメント間取引消去	△306
持分法投資利益又は損失(△)	267
その他の調整額	△1
四半期連結損益計算書の経常利益	1,419